

第3学年道徳学習指導案

日時 平成17年10月5日(水) 2校時
対象 3年B組 (男12名、女12名 計24名)
指導者 講師 葛西 祥子

1 主題名 「責任ある行動」【1 - (3)】

2 資料名 「廃品回収で学んだこと」 (東京書籍「明日をひらく」3年)

3 主題設定の理由

(1) 価値について

指導内容1 - (3)は、「常に自主的に考え、誠実に行動して、自分の行動については率直に責任を取ろうとする態度を育てる」ことをねらいとしている。この時期の生徒は、興味関心のあることには積極的に行動するが、そうでないことに対しては人任せにしてしまうところが見られる。3年生のこの時期は、高校進学という大きな目標に向けて、自分の進路を決定する大切な時期である。そんな中で、進路決定だけでなく何事に対しても、自ら考えて責任を持って行動しようとする態度を育てたいと考え、本主題を設定した。

(2) 生徒について

全体的に明るい雰囲気があり、相手の気持ちを考えて行動できる生徒も多い。しかし、自分に与えられた係などの仕事に対しては人任せにしてしまい、自分からやろうとする積極的な姿勢が見られない。7月に行った教研式教育・心理検査 NEW HUMAN の結果を見ると、「自主・自律」にかかわる項目では、Aの「十分発達」が約72%、Bの「おおむね発達」が約22%、C「発達が不十分」が約4%であり、数値的には全体的に望ましい傾向にあると言える。しかし、実際の生活の中では、提出物を係が回収しないために点検してもらえなかったり、給食もなかなか準備せず、いつまでも食べることができなかったりということがあつた。普段の生活の中で自ら考え、行動できるようになって欲しいと願っている。

(3) 資料について

生徒会による廃品回収で主人公の「ぼく」は、責任者になる。自分の仕事に対する軽い考えや、「面倒くさい」という気持ちによって多くの人に迷惑をかけ、協力をしてもらおうことになる。そのことで「ぼく」は最後に自分に欠けていたものが何だったのかを考えることになる。主人公の「ぼく」が、「ほかの人はどうあれ...やらなければならなかった。」と気づいた気持ちに共感させ、自分たちの普段の行動を振り返らせたい。そのことから、「責任をもつ」ということは一体どんなことなのかを深く考えさせたい。

4 共に生きる心(人及び自然とのかかわり)について

毎日の生活の中で、自分に与えられた仕事や役割に対し、「面倒くさい」とか、「誰かがやってくれるだろう」と思った経験は誰もが持っている。そう思うことで、自分が嫌な思いをしたり、相手にも迷惑をかけたという結果を招いてしまうこともある。この資料にかかわる中で、個人を振り返り、意見交換させるなどして、普段「面倒くさい」とか、「どうでもいい」というように感じている男子生徒の心の成長を支援したい。また、普段の生活や、残り少ない学校行事に向け、最高学年として、これから自分たちには何が必要なのかということにも改めて気づかせたい。

5 本時の展開

(1) ねらい

自ら考え、責任を持って行動しようとする態度を育てる。

(2) 研究仮説(手だて)とのかかわり

- ・ 夏休みの廃品回収について振り返らせ、資料への興味・関心を喚起させる。
- ・ 自ら考えること、また自分の考えに向き合うことをねらいとし、書く活動を取り入れる。
- ・ お互いの表情がよく見えるように、また生徒同士の意見交換がしやすいように、学習形態をコの字型にする。

(3) 展開

段階	学習活動と主な発問	期待される生徒の反応	指導上の留意点
導入 7分	夏休みの廃品回収について振り返る。 資料の範読		事前に行ったアンケートをもとに、どんな結果だったかをみんなで確認する。
展開 35分	1 廃品回収当日の主人公の気持ちを考える。 当日の主人公の行動はどうだったかな？ 2 雨が降った後の主人公の気持ちを考える。 雨が降った後、主人公の気持ちはどうだったかな？ 3 「後片付けをしないのか」と言われたときの主人公の気持ちを考える。 「あした、やるよ」と言った主人公をどう思う？ 4 主人公に欠けていたものを考える。 リーダーとして「ぼく」に欠けていたものは？ (書く活動)	・ 適当 ・ いい加減 ・ よく考えていない ・ 両親にすまないと思った ・ 自分は無責任だと思った ・ 自分が恥ずかしい ・ 疲れていたから仕方ない ・ 自分もそう思う ・ 無責任だ ・ 責任感 ・ 先のことを考える力 ・ 計画性	面倒くささや、いい加減さが出ている点をおさえる。 自分自身に照らし合わせて、共感的に考えさせる。 ・ ここで学習形態を一斉授業型にする。 書く活動 道徳的価値に迫らせる。
終末 8分	5 本字のまとめをする。 今日の授業で感じたことをまとめよう。 (書く活動)	・ 実際の廃品回収において、自分たちの行動は3年生としてどうだったかということもふまえて書かせる。	・ 書く活動 自分の考えに向き合う。

6 板書計画

廃品回収から学んだこと

ぼく

責任者

回収当日

雨が降ったけど…

翌日

リーダーとしてぼくに欠けていたものは？